TAC公認会計士講座　お申込時の注意事項

- 講座申込の際は、事前に必ずTAC申込規約・個人情報のお取扱いについて・当注意事項・TACホームページ掲載の受講ガイド・各種規約をご確認ください。
- 公認会計士講座における「本科生」（本科生分割払いを含む）とは、「インプット期」・「論文直前期」というそれぞれ異なる受講期間（目標年度の論文式試験受験まで）をもつ２つの独立したカリキュラム講座を合わせて総称する呼び名で、それぞれの受講期間は公認会計士講座が特別に設定しております（TAC申込規約３（2）（注３）受講期間④にあたるものです）。
- 「インプット期」・「論文直前期」の受講料はパンフレットP32をご覧ください。なお、特段の定めがない限り論文直前期の受講料は、全学習メディア共通で36,000円となり、インプット期は該当する本科生受講料から論文直前期受講料を差し引いた金額となります。
- 本科生分割払い（前期）はインプット期に該当します。論文直前期は後期に含まれます。
- 公認会計士講座本科生の解約に伴う返金額の算定では、「インプット期」・「論文直前期」のそれぞれにおいて未受講期間を計算し、未受講受講料相当額を算出いたします。

TAC公認会計士講座　分割払いに関する注意事項

- 前期のお申込みをいただいた方には、後期のお申込みに関するご案内をいたします。なお、お支払い期間は以下となります。

  【2024年合格目標コース】2023年３月上旬～７月末日

  【2025年合格目標コース】2024年３月上旬～７月末日
- 本科生分割払い（前期）でお申込みの場合、本科生特典・フォロー制度等（自習室利用等）のご利用は、お申込み時から前期受講期間終了時までとなります。その後のご利用に関しましては、後期受講料のお支払い後から合格目標年度の本試験最終日まで（就職サポートを除く）となります。予めご了承ください。
- 本科生分割払い（前期）の受講料に含まれるカリキュラムは、各科目の「入門・基礎マスター講義」から「租税法　入門・基礎マスター講義」を除いたカリキュラムとなります。なお、「租税法　入門・基礎マスター講義」は後期受講料のカリキュラムに含まれます。
- 本科生分割払い（前期）の解約に伴う返金額の算定において、受講期間の算出はTAC申込規約３（2）（注３）に準じます。分割払い後期の解約に伴う算定においては、上記「お申込時の注意事項」記載の算出方法に準じます。